



# 桃五だより



No.610

(4月号)

2022.4.6

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>

## 窓越しのさよならジャンケン

校長 川田 忠

3月20日に桜の開花宣言が出された東京ですが、三寒四温を繰り返す中で、春休みが終わるまでの長い間、花見を楽しむことができました。桜の花々からたくさんのエネルギーをもらい、令和4年度のスタートです。

今年度は、新1年生118名を迎え、全校670名、22学級で桃五小の教育活動を進めてまいります。22の普通教室をすべて使うのは、本校の施設環境としては最大規模となります。

さて、時間を少し巻き戻すと、修了式・卒業式が行われた日に、数人の子供たちから校長にお手紙が届きました。学年はいろいろですが、子供たちからの年度末のお手紙は、とてもとてもうれしいものでした。

・校長先生、4年間ありがとうございました。僕たちは卒業しますが、桃五小をずっといい学校にしておいてください。

・校長先生の月曜朝会のお話が、すごく楽しみでした。ありがとうございました。

・これからも、たくさんお仕事がんばってください。

小さな子供たちに「仕事をがんばれ」と言われたら、がんばらないわけにはいきません。そして、こんなお手紙もありました。

・帰りに、校長先生とジャンケンできたのがすごく楽しかった。明日もジャンケンするぞと思って帰りました。来年も、さよならジャンケンをお願いします。

下校時に、東門から帰る子供たちの何人もが校長室の前にやってきます。黄色の帽子を被った子供たちは、窓よりも背が低いのでびよんびよん跳ねたり、手だけを突き上げたりして、ジャンケンをしています。

校長がパソコンに向かっていて下校するのに気付かないと、校長室の窓をドンドンと叩きジャンケンを催促

されることもあります。学年を問わず、さよならジャンケン窓越しに行うのが、日課になっています。

校長とジャンケンをして勝つと、歓声をあげて帰っていきます。負けた子は、ちょっと悔しそうな表情をしますが、そのあとに「また明日ね」と言いながら帰っていく様子があります。

子供たちとのささやかな、数秒の交流の時間です。ただ、この時間に子供たちの学校生活が見事に映し出されていると感じています。校長とさよならジャンケンをしてから下校していく子供たちの表情は晴れやかで、今日の学校生活への満足感を感じます。

学校生活を送る子供たちにとっては、うまくいくこと、いいことばかりではありません。時には、学校での不満や心配が、お家に帰ってからの涙になることがあるのでしょうか。

しかし、子供たちにとって学校は楽しいところであってほしいと思っています。楽しくなくちゃ、学校ではない。新しいことがわかったりできたりすることも、多くの人と対話し自らの学びを深めることも、友達と様々な交わりを広め深めて思い出を作ることも、みんなで一つのことをやり遂げることも、どれもが学校生活の楽しさへとつながっています。

今年度も、まだまだ新型コロナウイルス感染症への対応は続きます。思うようにできない、進まないことがあるかもしれませんが、それでも、どんな状況になろうと、今日の学校に満足し、明日の学校に期待する子供たちを育てるのが学校としての使命です。子供たちの満足感、達成感がたくさん積み重なる桃五小の一年にしていきたい。今年度も、校長室の窓越しで、多くの子供たちとさよならジャンケンをする毎日を創っていきます。

4月の生活指導目標

**もも五のこどものやくそくを守ろう。**

新学期が始まりました。桃五小のみんなが安全、安心で楽しい学校生活を送れるように、大切なやくそく『もも五のこども』を確認しましょう。そして、みんなの力で、桃五小をよりよくしていきましょう。